総合計画審議会
分科会資料

資料第１号

施策体系の見直しについて

総合計画担当

第５次総合計画

はじめに
1. 総合計画策定の考え方
2. 総合計画の構成と期間

まちづくり構想
1. 策定の趣旨
2. 構想の期間
3. ありたいまち
4. まちづくりの進め方
5. 人口・土地利用に関する考え方

まちづくり基本計画
1. 策定の趣旨
2. 計画の期間
3. 施策体系
4. 施策別の取組（各論）
5. 主要取組項目
6. 行政運営
7. 計画の推進

資料編
1. 時代認識と尼崎市の現状
2. 総合計画にかかるこれまでの取組経過
3. まちづくりに関する市民意識

«方向性»

全体構成は基本的に第５次総計を踏襲

土地利用の取扱いは要検討

«変更点»

まちづくり基本計画の進捗を測る指標として、まちづくりの総合指標を基本計画に掲載し、位置づけを明確にする。

追加

分科会での審議対象

専門部会で審議

※次期行財政改革計画のあり方とあわせて一体的に検討

第６次総合計画 構成 案

はじめに
1. 総合計画の策定
2. 総合計画の構成と期間
3. 尼崎市を取り巻く状況

まちづくり構想
1. 策定の趣旨
2. 構想の期間
3. ありたいまち
4. 尼崎らしい5つのありたいようす
5. まちづくりの進め方
6. 行政が果たすべき役割・責務

まちづくり基本計画
1. 策定の趣旨
2. 計画の期間
3. まちづくりの総合指標
4. 施策体系
5. 主要取組項目
6. 施策別の取組（各論）
7. 行政運営
8. 計画の推進

データ集（仮称）
1. 時代認識と尼崎市の現状
2. 総合計画にかかるこれまでの取組経過
3. まちづくりに関する市民意識

「施策体系」の考え方

「施策」とは、**<u>分野ごとの取組やその方向性</u>**を示すもの。

→　現総合計画（後期計画）では、市が行う取組を、**１６施策に分類**し、
それぞれの施策に展開方向（２～４）を設定している。

→　この**施策と展開方向**は、
総合計画の進捗管理のために実施している<u>「施策評価」での単位</u>となり、
展開方向ごとに１枚のシートを作成し評価を実施している。

次期総合計画の施策体系（展開方向を含む）の検討にあたっては、

施策や展開方向のボリュームなど

<u>行政の使いやすさ（評価のしやすさなど）に重点</u>を置き、

①　**取組の一体性**（例えば、地域コミュニティと生涯学習など）

②　**分野別マスタープランや審議会などとの関係性**

※右表の ● マークのある施策

などの観点から検討を進めている。

施策体系（案）

1 地域コミュニティ・学び	
2 人権尊重・多文化共生	●
3 学校教育	●
4 地域福祉・生活支援	●
5 子ども・子育て支援	●
6 障害者支援	●
7 高齢者支援	●
8 健康支援	●
9 生活安全	
10 消防・防災	
11 地域経済・しごと支援	●
12 環境保全・創造	●
13 住環境・都市機能	

次期総合計画の施策体系の検討状況

専門部会での主な意見等

・施策の分類については、縦割り意識をなくすためにもっと大きな括り（４つ程度）の方が、わかりやすく適当ではないか。

・魅力創造発信については、全ての施策が関連するので、施策を俯瞰する視点で取り扱ったほうがよいのではないか。

・市が取り組んできた地域振興体制の再構築などの方向性を考えると、地域コミュニティと生涯学習の統合が自然

・「地域コミュニティ」「学び」はあらゆる施策のベースとなる位置づけ

庁内での主な議論等

・「地域コミュニティ」の取扱いについて
→「地域福祉」との親和性が高いので統合も含めて検討すべき

・「魅力」のあり方について

・「マナー」の取り扱いについて

・施策の展開方向と分野別マスタープランの整合について

・施策の名称と順番について

対応

・これまでの施策評価の積み重ねを踏まえる中で、施策のボリュームは評価するうえでも現行程度が望ましいと考えており、ご指摘の大分類については、施策を連携させて取り組む「主要取組項目」で表現できると考えている。

・ブランド戦略・イメージについては、関連する施策が多いことから、主要取組項目や行政運営に記載の方向で検討する。

・観光の観点は「地域経済・雇用就労」に記載

・**「地域コミュニティ」は、あらゆる分野の土台**となるものであると認識しているが、その中でも**「学びと活動の循環」が自治のまちづくりに向けて重要**であると考えており、では**「地域コミュニティ」と「生涯学習」を統合**している。

・マナーについては、施策間連携が前提であり、主要取組項目としての取り扱いも含めて検討が必要

・分野別マスタープランがある施策については、**施策の展開方向と分野別マスタープランの柱をあわせることを基本**として整理している。

・施策の名称は施策の内容がわかるよう短い表現を意識し、順番は施策の内容や関連性などを意識し整理している。

【参考】現計画の施策体系と次期計画の施策体系（案）の比較

≪現行≫施策体系

- 行政運営
- 1 地域コミュニティ
- 2 生涯学習
- 3 学校教育
- 4 子ども・子育て支援
- 5 人権尊重・多文化共生
- 6 地域福祉
- 7 高齢者支援
- 8 障害者支援
- 9 生活支援
- 10 健康支援
- 11 消防・防災
- 12 生活安全
- 13 地域経済・雇用就労
- 14 魅力創造・発信
- 15 環境保全・創造
- 16 住環境・都市機能

≪新≫施策体系 案

- 行政運営
- 1 地域コミュニティ・学び
  - 市全体取組（学びと活動）
  - 文　化
  - 歴　史
  - スポーツ
- 2 人権尊重・多文化共生
- 3 学校教育
- 4 地域福祉・生活支援
- 5 子ども・子育て支援
- 6 障害者支援
- 7 高齢者支援
- 8 健康支援
- 9 生活安全
- 10 消防・防災
- 11 地域経済・しごと支援
- 12 環境保全・創造
- 13 住環境・都市機能

統合

統合

ブランド戦略を
主要取組項目・行政運営へ　検討

地域福祉⇓各種支援

身近な生活⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓社会インフラ